



きやま協働通信



木山小HP

文責：木山小学校長

地域が学校（子ども）を元気にし

元気になった学校（子ども）が地域を元気にする

学校・家庭・地域でこんな子どもを育てよう（コミュニティスクール目標）

お互いの良さが認め合える子どもの育成～自分が好き 人も好き 故郷（ここ）が好き～

午年 3学期スタート

1月7日（水）始業式

玄関には、5年生がお飾りづくりを教えていただいた時にお手本で持ってきてくださったお飾りを飾りました。

児童昇降口には、5年生児童が作ったお飾りを飾りました。



朝、寒い中でしたが、始業式をしました。2学期終業式は、インフルエンザが流行っていて、各教室でオンラインで実施しました。子どもたちが集まっている姿にとてもうれしく思いました。合言葉は「自分からチャレンジ」の話をしました。午年には力強いエネルギーがあります。火の力が強く、太陽のように明るく元気に大きく前に進み、成長できる年です。それぞれが目標に向かって頑張りましょうと話しました。

木山地区もみんなの力で、太陽のように明るく元気にしていきましょう。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

地域とともににある学校 木山小学校

地域とともににある学校とは

学校に関わる大人同士が「どのような子どもに育てたいのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、学校と地域がパートナーとして連携・協働しながら学びを展開していく学校のことです。



学校運営協議会委員さんには、共同経営者として、学校の在り方について話をいただき、発信、取組をしています。学校関係者評価もしていただき、今年度の振り返りと次年度への方向性を考えています。

2月20日9時30分から木山小学校で今年度最後の学校運営協議会を開きます。令和8年度の学校経営の基本方針についても協議していただきます。

学校を核とした地域づくり

学校を核とした地域づくりとは

教育課程の実施に当たって、地域の人的物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることです。

このことが実現できていると感じています。ありがたいことです。

冬休み中の子どもたち



12月24日「きやまっこ」
12月24日きやまっこに行ってみると、子ども食堂「アッピホーム」から届いたカレーライスを食べ終わったところでした。とってもいい顔をしていました。



地域食堂 KATTAKITCHEN憩
12月25日は、KATTAKITCHEN憩におじゃましました。子どもたちの居場所づくりをしていただいていることに感謝です。



ええところ

1月8日に読み聞かせボランティアの方が来てくださいました。福島さんと田中さんです。1年生教室では、「ええところ」という本を読んでくださいました。

自分に良いところがないと感じる小学1年生のあいちゃんが主人公。背が低く足が遅い自分に自信がもてないあいちゃんが、友達のともちゃんに「私のいいところ教えて！」と尋ねるが、すぐには答えてもらえず落ち込む。しかし、翌日ともちゃんが「あいちゃんのいいところ、見つけたよ！」と教えてくれたことから、自分や友達の良いところに気づき、自己肯定感を育む心温まる物語でした。

2年生は、「干支の始まり」の本に聞き入っていました。



お知らせ

次回ブックるん：1月22日（木）13:00～13:30

次回資源回収：2月14日（土）・15日（日）